

令和5年8月9日

東日本高速道路株式会社
横浜工事事務所
所長 川崎 健史殿

横浜環状道路（圏央道）対策連絡協議会
会長 比留間 哲生
湘南桂台生活環境を守る会
代表幹事 青木 達喜

桂台トンネル上り線を工事用道路として早急に運用してください（要請）

表記の件 平成27年1月開催された公田地区掘割試験工事等に関する説明会、更に同年8月に開催された桂台トンネル工事説明会で公田ICや桂台トンネル工事で発生する残土140万 m^3 や工事に必要な資材等は、上り線シールドトンネル工事完成後は原則シールドトンネル内を活用して運搬するとの説明がありました。

昨年9月には上り線の掘進を終えシールドマシンは回転立坑に到達しました。そして本年5月には下り線の試験掘進が開始されております。掘進開始に併せて開催された地元説明会で工事長には、工事車両を地上走行からトンネル内走行に切り替えるようお願いしましたが、上り線トンネル内に後続台車がある為まだ工事用車両を通せないとのことでした。ならば、後続台車が下り線に全て移動する11月の本掘進開始に合わせて上り線を工事用車両を通せるよう回転立坑の公田側に進入道路を早急に造ってください。

上り線トンネル工事がシールドマシンの故障で7カ月間停止した期間、そして騒音・振動による苦情で掘進速度を落とさざるを得なくなったことによる工事遅延の期間も、公田IC工事の工事車両は地上部の上郷公田線ルートを走行してきました。特に夏季期間は通風のため開けた窓から騒音と土埃が入って来て沿線住民は何年にも亘って非常な迷惑を被っています。これ以上の被害の押しつけは我慢できません。トンネル内を工事用道路として運用するまでは公田IC地区の工事車両の地上走行を中止してください。

工事用車両の走行を止められないのであれば走行速度は厳守してください。私達が去る6月22日、発進到達立坑インフォメーションセンター前で速度測定を行ったところ、午前9時からの30分間で計測した16台中5台は27~29 km/h と制限速度15 km/h の倍近い速度でした。15 km/h はNEXCO東が約束した速度です。今後も走行速度の抜き打ちチェックを行います。速度オーバーの車両があればその場で停車させることもあり得ますのでご承知ください。 以上

(連絡先) 連協 副会長
湘南桂台生活環境を守る会 総務
金子 サキ
横浜市栄区桂台南1-31-23
電話 045-893-6840